

OSAKA ASIAN COLLEGE OF ARTS & TECHNOLOGY

丹羽 雄一



■設計主旨

近年、日本が行っている、アジア諸国への経済、技術交流は、受入れ側の国々の人材面、技術面の不足、さらには環境面の悪化から、内海に機能しにくい状態となっている。アメリカを抜き世界一の援助大国となろうとしている日本には、人材教育、文化交流といった次の段階の援助が求められているのではないだろうか。

こうしたなかで、アジア地域での国際的視野の教育活動は、欧米先進国への留学が主流となっており、特に国家の制度や初等、中等教育機関が整いつつあるアジア諸国では、教育政策の基調を「人権としての教育」から「経済発展のための教育」へと移行させており、工学分野への留学の要求がたかまっている。日本においても今後、工学の狭義の解釈をこえて、経済、環境との境界を包含する、アジアの知恵と工学とを融合させた新しい総合学術体系として、「アジア工学」を確立することが求められている。

本計画では、「アジア工学」をコアカリキュラムとした高等教育機関と、アジアの芸術、文化を伝える市民講座からなる、ASIAN COLLEGE OF ARTS & TECHNOLOGY を、アジア工学の建築的モデルとして、再びアジアの核都市としてポテンシャルを高めつつある大阪に提案する。そのため、

1. アジア工学の確立
2. アジア的キャンパスの提案
3. 新しいネットワークによる都市の活性化を計画の目的とする。

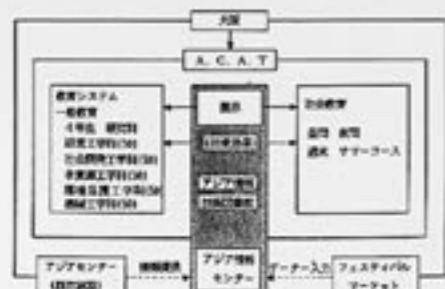


図-3 大学構成

学部	学科	一級学歴 (年)	専攻 (年)
工学部	工学部	4	2
	工学部	4	2
芸術部	芸術部	4	2
	芸術部	4	2
国際学部	国際学部	4	2
	国際学部	4	2
経済学部	経済学部	4	2
	経済学部	4	2
法学部	法学部	4	2
	法学部	4	2
文学部	文学部	4	2
	文学部	4	2
理学部	理学部	4	2
	理学部	4	2
農学部	農学部	4	2
	農学部	4	2
医学部	医学部	6	2
	医学部	6	2

図-4 学科構成



図-5 敷地周辺図



図-6 配置計画

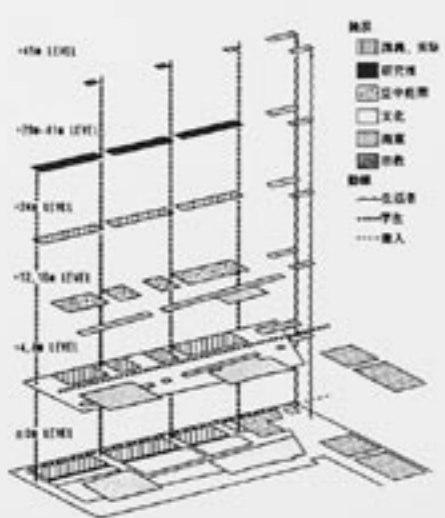


図-7 断面図

